

令和7年度狛江市立学校使用教科書採択結果及び採択理由の概要

令和6年第8回教育委員会定例会（令和6年8月17日開催）において、中学校の全教科、特別支援学級については一般図書等について、採択を行いました。

以下のとおり、採択理由の概要と委員からの主な意見についてお知らせします。

【中学校】

＜国語＞光村図書出版

（採択理由概要）

義務教育段階において、語彙力と情報の扱い方の指導を充実させる必要があり、生徒たちの書く力を伸ばす、そしてバランスよく表現する力を身に付けるという観点から評価。

（委員からの主な意見）

- 万葉集の中に多摩川を直接教材に挙げており、多摩川を身近に感じている狛江の子どもたちをつかむという意味ではより望ましい。
- 学習の流れが整理されていて、年間を通じてどのような学習を行うか全体が見通せるようになっている点がよい。
- 学習内容と学習方法の両面を重視して学習に取り組むことができ、自分自身で学びを深めていくという点から最適ではないか。

＜書写＞光村図書出版

（採択理由概要）

デジタルコンテンツ、書写ブック、別冊による硬筆についても普段使う字形が例示されていること、練習もできるような構成になっていること、そして、意味理解といった観点から評価。

（委員からの主な意見）

- 手紙や年賀状の書き方など、実生活に生かされるような工夫もよくされている。
- 楷書と行書を含め、段階的な内容構成となっていて、見通しをもって筆遣いを書き込める。二次元コードで書き方の画数や他の教材を手軽に確認できるようになっている。
- 手書きで字を書くことを非常に丁寧に取り扱っている。書写の学習が自分にとって必要な学習内容であることを実感できる工夫がある。

＜社会（地理分野）＞帝国書院

（採択理由概要）

思考力・判断力の育成、震災後に生まれた子どもたちに災害・防災を伝えていくような役割、そして、狛江独自の特色ある題材が挙げられていること、学びの見通しが立っていることといった観点から評価。

(委員からの主な意見)

- 見方・考え方、課題解決学習を一番取り入れて、生徒の興味や関心を高める導入部分、見通す部分、知識を深める部分が工夫されている。
- 世界の様々な地域や日本の地域ごとの特色をまとめることによって、思考力・判断力・表現力を身に付ける工夫がされている。
- 年間を通した学習の見通し、目に映るすべてのものが題材となる地理的な見方・考え方、また地図帳を活用した学び方ができるように工夫されている。

<社会（歴史的分野）> 東京書籍

(採択理由概要)

課題解決型の学習が進められる構成になっているのか、そして歴史から学ぶことができるのか、ということに着眼し、単元の課題、探求課題と1時間ごとの学習課題が記載されており、課題解決型学習を進める構成になっている点を評価。

(委員からの主な意見)

- 教科書の冒頭に課題学習の説明について非常に丁寧に挙げられている点が評価できる。
- 課題解決型の学習をスムーズに進めるような構成「みんなのチャレンジ」という項目があり、対話的で活動的な学びを進める構成になっていて、とても分かりやすい。
- 主体的な学びにつながるためには導入部分はとても大事であり、導入部分は発展的な学習につながるように上手に取扱いをしていて、とてもよい。また、歴史的分野においても探求学習が大事であり、そのための位置付けについて、構成と分量で非常に上手に扱っている。

<社会（公民的分野）> 教育出版

(採択理由概要)

現代社会の変化によって生じた課題や、日常生活と関連した内容が取り上げられており、中学生にとっては、身近なところから考えを広げたり、ディスカッションをしたりということが可能な題材が多いことを評価。

(委員からの主な意見)

- 学習のゴールが、50年後の自分や、地球の持続可能な未来を創造できるようにあるように、問題解決型の学習が重視されている。
- 地球規模の持続可能な社会を作るという部分を強く意識して見ると、実際に話合いや活動の場面が設けられていてよい。
- 日常生活を含めて身近な内容との関連性をもたせて詳述している。

<地図> 帝国書院

(採択理由概要)

SDGs に関連する統計の掲載があり、社会科以外の教科でも活用できることや、防災を取り上げていること、多摩川に近い狛江の特性として資料活用ができるということの評価。

(委員からの主な意見)

○地図で考える持続可能な社会では、地図上で考える SDGs、日本の自然災害、防災にページを多く使っており、狛江の子どもたちにとって学びやすい。

○立体的に位置関係を把握できるのは大変よい。多摩川に近いという狛江市の立地条件からも、防災や自然災害への関わり、関係機関の役割がしっかりと書かれている。

○防災に関する学習内容が充実しており、水害への備えを学んでほしい狛江市として、よりふさわしい。

<数学>数研出版

(採択理由概要)

基礎・基本の習得、既習事項の確認といった、義務教育のベースの部分をしっかりと身につけ、その上で、数学的な見方・考え方を発展的に学習できる一方で、導入部分では数学に興味・関心をもつ工夫がされている点の評価。

(委員からの主な意見)

○基本的な問題を進めてから、それを発展させた問題という取扱いをしており、大切にしたい部分である。

○関連する既習内容を振り返る点が良い。学習内容を深めるページも充実していて、補充問題として段階的に豊富な演習ができる点もよい。

○どんなことを学び、どれだけ身に付いているかを子供たちに確認させた上で、指導に入っていくという面では非常に丁寧である。

<理科>東京書籍

(採択理由概要)

日常との関連、有機物と河川の関係、大気汚染、洪水、脱炭素社会に向けた持続可能な社会までつなげて取り上げているところや、ステップを踏んで、課題解決型の学習というものを取り扱っている点の評価。

(委員からの主な意見)

○なるべく興味・関心を持たせるために、身近なものにフォーカスしている。

○「(問題発見) レッツスタート」では、学びやすいように、身近なものを取り入れているところに注目、また実験も段取りよく、結果考察に進むことができるようになっており、とても探求しやすい仕組みになっている。

○課題解決学習の過程をセオリー通りに扱っている。

<音楽(一般)>教育芸術社

(採択理由概要)

対話形式で示されており、歌詞と情景をつなげながら、ルールを守ること大切にした音楽活動につなげていけることや、仕事やSDGs、日常、ジャンルの相関、学びの手立て等を評価。

(委員からの主な意見)

- 将来の職業とのつながりを意識して学習でき、未来思考の内容になっている。
- 夕焼けや波の写真等が美しく使われていて、情景を思い浮かべながら歌う工夫がされているところが、とてもよい。
- 学びを示す手立てが、丁寧に單元ごとに構成されているため、見通しを持って学習できる。

<音楽(器楽合奏)>教育芸術社

(採択理由概要)

和楽器や様々な楽器が取り扱われていること、発展的な内容が明示されていることを評価。

(委員からの主な意見)

- 二次元コードの活用で、調べ学習や伴奏と合わせた演奏ができ、自主的に学習を深めることができる。
- 音楽鑑賞教室や、「音楽の街一泊江」事業が取り上げられている点が大事な要素であり、和楽器の扱いも他社に比べて丁寧である。
- 既に小学生の段階で、和太鼓や能、狂言、琴などについても深く学習しており、中学校でも更に音楽の学習を深く学び進めることができる。

<美術>開隆堂出版

(採択理由概要)

表紙のインパクトや、生徒が引き込まれていくようなつくり、考えるヒントが入れられていること、全領域についてバランスよく掲載されていること、狙いが明確であることを評価。

(委員からの主な意見)

- 学習の狙いが明確であり、表現と鑑賞がバランスよく配列されている。
- 表紙がカラフルでインパクトがあるだけでなく、凸凹も表現することで美術の着想を刺激する魅力的なデザインになっており、学習の目標が各単元の冒頭に記載され、何を考えて作品を作ればよいのかが分かりやすい。
- 全体的に学習の目標が明確で、子どもたちに伝わりやすく、表現と鑑賞のバランスもよくできている。

<保健体育>大修館書店

(採択理由概要)

情報が多く、その中で、疾病のことに対して、広く取り上げられている点に注目し、子どもたちが正しい知識を身につけ、発展的に捉えられる点を評価。

(委員からの主な意見)

- 性の多様性やがん教育等をきちんと扱っている。
- 各項目の見出しが大きく、学習内容が分かりやすく、各章のまとめは2ページもあり、思考力・判断力・表現力が付けられる問題形式で、学習の振り返りがしっかりできる。
- 情報量が非常に豊富で、基礎的、基本的な内容が充実されている。

<技術・家庭（技術分野）>東京書籍

(採択理由概要)

安全性、技術の理解、モラルも含めたテクノロジーの導入、生物育成の技術からの問題解決という点を評価。

(委員からの主な意見)

- 情報技術の単元で扱う通信ネットワークやセキュリティーの仕組み等の難しい学習内容を、イラストを用いて理解しやすい工夫がされている。
- GAPが紹介されており、狛江のブランド農産物 GAP 野菜は給食の食材でも使われていて、より狛江の農業に関して興味を広げ、学ぶことができる。
- 生徒が実際に道具を使うため、事故につながらないための資料性が大切であり、適切な量の資料が含まれている。

<技術・家庭（家庭分野）>東京書籍

(採択理由概要)

内容のバランス、分量、家族から衣食住という実践的な内容の取り上げていることを評価。

(委員からの主な意見)

- 調理実習の例が非常に多く、衣食住、消費、家族の順で構成されている点もよい。
- 全体的なバランスを考えた場合、望ましい。
- 家族家庭の機能を学んだ上で、衣食住や、消費生活、環境から、生活の自立に必要な基礎的な理解と技能を身に付ける構成になっている。

<英語>三省堂

(採択理由概要)

聞くことから発表までの一連の流れや、レベルが高い会話形式も重点にされていること、状況の設定が見やすいことやバランスも含めて基礎力を更に向上させる点を評価。

(委員からの主な意見)

- 会話形式の漫画が多く、学習内容の状況設定をイメージしやすい。二次元コードの

活用もあり、発音や単語、基本的な構文について、生徒が自分のペースで家庭学習でき、個に応じた学びができる点もよい。

○実践的なコミュニケーションができるよう、工夫がされている。

○少しレベルの高い教科書だが、プレゼンテーションの中身や、コミュニケーションの取扱いが適切である。

＜道徳＞日本文教出版

（採択理由概要）

自分自身を見つめる、他者を意識する、そして社会全体を俯瞰的に見るところから、将来の希望、命を大切にするという点で、題材、流れ、最後の課題が生徒の思考を邪魔していないか、あるいは誘導、誘発していないかという観点から、子どもたちが身に付ける心の育みというところを評価。

（委員からの主な意見）

○「考えてみよう」という構成の最初に、「自分にプラス1」という、本人と他者という位置付けもあり、よい構成である。

○いじめと向き合う学習内容が多く取り扱われていて、SNS との付き合い方についても、より具体的にイメージできる学習内容になっている。

○道徳はきちんと子どもに考えさせることが必要な教科。いじめに対して、これだけ法制化されているものの、一向に根絶されていない。いじめにしっかりと向き合い、重点を置くことが必須。

【特別支援学級】

特別支援学級用図書については、原則として検定教科書、又は文部科学省著作教科書を使用するが、教科により当該学年の検定教科書、又は文部科学省著作教科書を使用することが適当でない場合、これらに代わる適切な一般図書等を使用することができる。

各特別支援学級設置学校において、調査・研究の上、児童・生徒の教科の主たる教材としての内容を備えた教育上適切なものとして挙げられた一般図書等についてすべて採択。

※ 審議の詳細は、令和6年第8回教育委員会定例会議事録をご確認ください。